



## さっぽろスリムネット3R パートナー 自己紹介シート

# パタゴニア アウトレット札幌南

概 要

パタゴニアアウトレット札幌南ストアは、1874年に札幌軟石を用いて建設された趣のある瓦屋根の石蔵を保存する目的で2003年にオープンしました。店内には環境に配慮された建材や壊れた軟石を加工してカウンターにあしらうなど随所にユニークな再利用を盛り込んでいます。「私たちは、故郷である地球を救うためにビジネスを営む。」という社是のもと、フェアトレードや環境に配慮した素材をもとにアウトドアでご使用いただける製品や飲食物の製造販売を行っています。また、製品を長くご使用いただくための修理対応や製品が寿命を迎え、お客様が手放すタイミングが来た製品は、店舗に設置した回収ボックスで回収といった取り組みを進めています。



### 【マイバック推奨、エコバッグ・シェアリング】

店舗における袋の提供を終了し、ご来店されるお客様にはマイバックをご持参いただくよう呼び掛けています。  
マイバックをご持参されていない時にご利用いただける代替案として、有料の買い物袋を提供するのではなく、袋そのものを新たに生み出さないという視点で、使用していないエコバッグをお客様から提供していただき、別のお客様が買い物をする際に利用してもらう循環・共助の仕組み「エコバッグ・シェアリング」の取り組みを行っています。この取り組みがよい前例となり、共感いただける他の企業さんと共に取り組みができれば嬉しく思います。



### 【寿命を迎えた製品の回収、リサイクル】

製品が寿命を迎え、お客様が手放すタイミングが来た製品は、店舗に設置した回収ボックスで回収しています。それらは新しい繊維や生地にリサイクル(再生)し、その時点で素材としての価値があるものやまだ十分に使える状態の製品については、リペアや古着としての再利用など別の方法を探しています。



### 【ゼロ・ウェイスト】

2025年までに直接運営する事業において、埋め立て地行き廃棄物をゼロにする目標をあげています。店舗では目標を共有し、オペレーションや調達の見直しを進め、スタッフひとりひとりの行動変容を通じて廃棄物の発生を最小化しています。また、店舗で排出される廃棄物や資源はリサイクル・ステーションと呼ぶ仕分けBOXへ分別し管理、月ごとに計測しています。分別やデータから削減・循環型に転換するためのヒントを得てアクションにつなげ、達成のためのベンチマークにしています。



### 【修理】

製品を長く使っていただくための取り組みとして、シエルに穴が開いた、バッグの持ち手が取れた、などという場合に、店舗やリペアセンターで修理を行っています。  
小規模な修理はこの直営店舗でも対応しており、大がかりな修理が必要な場合は、お近くの店舗にて製品をお預かりして鎌倉にあるリペアセンターで対応しています。



ごみ減量に関する  
取り組み・活動内容

- ◆ マイバック推奨、エコバッグ・シェアリング
- ◆ 修理
- ◆ 寿命を迎えた製品の回収、リサイクル
- ◆ ゼロ・ウェイスト

ホームページ

[https://www.patagonia.jp/patagonia-sapporo-minami-japan/store\\_924604533.html](https://www.patagonia.jp/patagonia-sapporo-minami-japan/store_924604533.html)

記入日

2022年10月13日